



兼松株式会社

2025年3月期 第3四半期 決算補足説明資料

(見通しに関する注意事項)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは、様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがありますので、本情報や資料の利用については、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行ってくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。なお、表示の数値は、億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。

2025年3月期第3四半期 決算概況

- 前年同期比で増収増益、第3四半期の過去最高益を更新
- 親会社所有者帰属四半期利益の通期見通しに対する進捗率は72%と堅調に推移

2025年3月期 第3四半期実績

(単位：億円)	24/3月期 3Q実績	25/3月期 3Q実績	前年 同期比	増減率
収益	7,260	7,817	+557	+8%
営業活動に係る利益	331	334	+3	+1%
親会社所有者帰属四半期利益	166	194	+29	+17%
(調整後) 営業キャッシュ・フロー ¹⁾	180	250	+70	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△76	44	+120	
	24/3月末	24/12月末	前期比	
ネットDER ²⁾	1.00倍	0.83倍	△0.17倍	
自己資本比率 ³⁾	22.0%	23.9%	+2.0%	

2025年3月期 通期見通し (2024年11月1日公表)

(単位：億円)	25/3月期 通期見通し	3Q 進捗率
収益	11,000	71%
営業活動に係る利益	445	75%
親会社所有者帰属当期利益	270	72%
一株当たり年間配当金	105円	
連結配当性向	32.5%	

1) (調整後) 営業キャッシュ・フロー = 会計上の営業キャッシュ・フロー ± 運転資本増減 - リース負債の返済

2) ネットDER = ネット有利子負債 ÷ 自己資本 (親会社の所有者に帰属する持分合計)

3) 自己資本比率 = 自己資本 ÷ 総資産

損益の状況

2025年3月期 第3四半期 実績

(単位：億円)	24/3月期 3Q実績	25/3月期 3Q実績	前年 同期比	増減率
収益	7,260	7,817	+557	+8%
売上総利益	1,036	1,129	+92	+9%
販売費及び一般管理費	△776	△846	△71	-
その他の収益・費用	71	52	△19	△26%
営業活動に係る利益	331	334	+3	+1%
利息収支	△38	△37	+1	-
受取配当金	12	12	+0	+0%
その他の金融収益・費用	△1	△1	+0	-
金融収益・費用	△27	△26	+2	-
持分法による 投資損益・減損損失	△25	△12	+13	-
税引前四半期利益	279	296	+17	+6%
法人所得税費用	△99	△98	+2	-
四半期利益	180	199	+19	+11%
親会社所有者帰属 四半期利益	166	194	+29	+17%

■ 収益

電子・デバイスセグメントや食料セグメントを中心に、前年同期比で557億円の増収

■ 営業活動に係る利益

売上総利益は増加したものの、人件費などの増加もあり、3億円の増益

■ 税引前四半期利益

持分法による投資の減損損失を計上した前年同期比で、17億円の増益

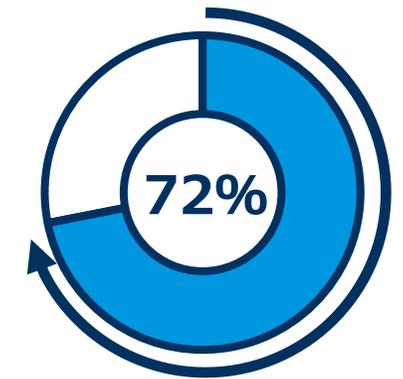
■ 親会社所有者帰属四半期利益

第3四半期過去最高益となる194億円
4ページ「セグメント別四半期利益」参照

2025年3月期 見通し（2024年11月1日公表）

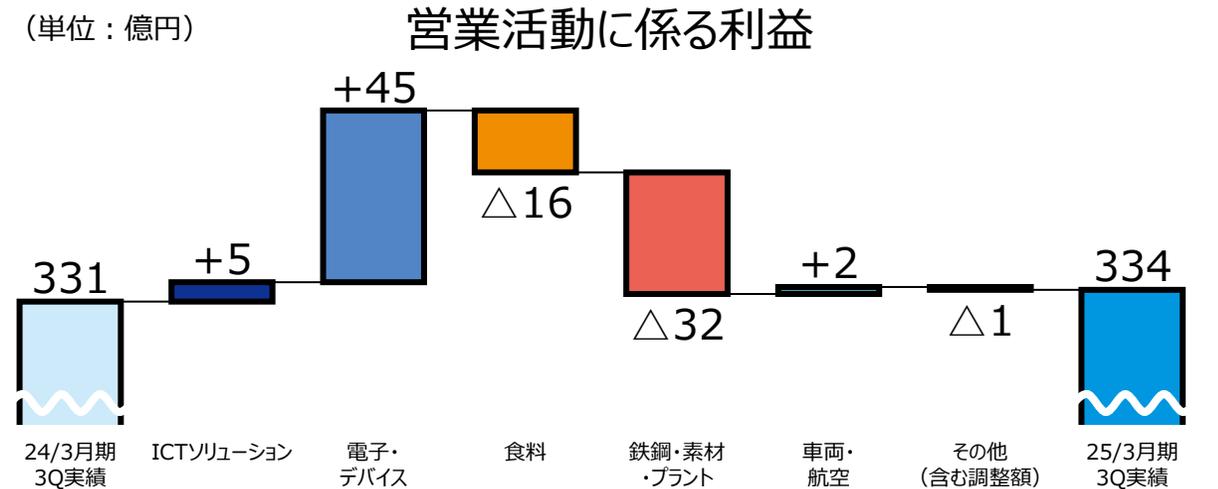
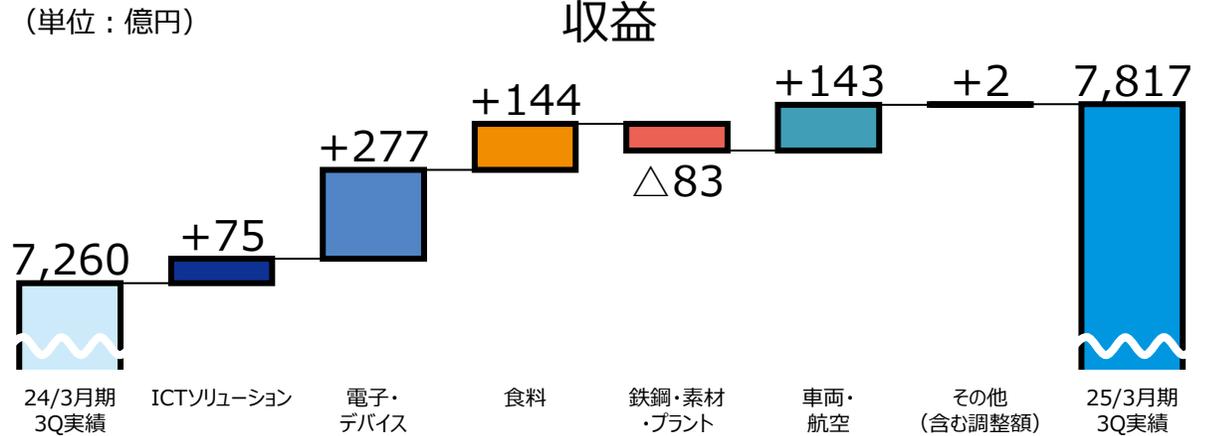
(単位：億円)	25/3月期 通期見通し	3Q進捗率
収益	11,000	71%
営業活動に係る利益	445	75%
税引前当期利益	400	74%
親会社所有者帰属当期利益	270	72%
連結配当性向	32.5%	

親会社所有者帰属当期利益の見通し
通期見通し270億円 3Q進捗率



セグメント情報

(単位：億円)	24/3月期 3Q実績	25/3月期 3Q実績	前年 同期比	増減率	25/3月期 通期見直し (修正後)	進捗率
ICTソリューション						
収益	578	653	+75	+13%	900	73%
営業活動に係る利益	86	91	+5	+6%	145	63%
親会社所有者帰属四半期利益	58	60	+3	+5%	100	60%
電子・デバイス						
収益	1,702	1,979	+277	+16%	2,800	71%
営業活動に係る利益	55	100	+45	+81%	117	86%
親会社所有者帰属四半期利益	32	67	+35	+110%	79	85%
食料						
収益	2,583	2,727	+144	+6%	4,100	67%
営業活動に係る利益	74	57	△16	△22%	73	79%
親会社所有者帰属四半期利益	36	23	△13	△36%	32	72%
鉄鋼・素材・プラント						
収益	1,592	1,509	△83	△5%	1,950	77%
営業活動に係る利益	80	48	△32	△40%	56	86%
親会社所有者帰属四半期利益	17	18	+1	+7%	26	68%
車両・航空						
収益	790	933	+143	+18%	1,200	78%
営業活動に係る利益	36	38	+2	+5%	54	71%
親会社所有者帰属四半期利益	21	25	+4	+18%	33	75%
その他（含む調整額）						
収益	15	16	+2	+11%	50	33%
営業活動に係る利益	0	△0	△1	-	0	-
親会社所有者帰属四半期利益	2	△4	△7	-	0	-
合計						
収益	7,260	7,817	+557	+8%	11,000	71%
営業活動に係る利益	331	334	+3	+1%	445	75%
親会社所有者帰属四半期利益	166	194	+29	+17%	270	72%

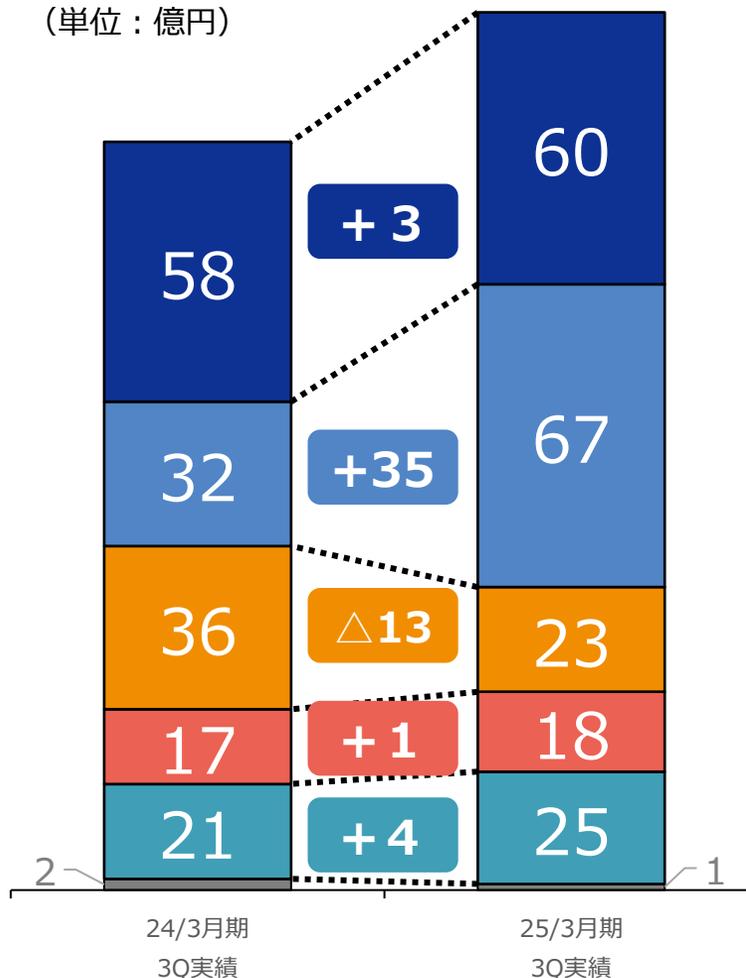


セグメント別四半期利益

親会社所有者帰属四半期利益

■ ICTソリューション ■ 電子・デバイス ■ 食料
 ■ 鉄鋼・素材・プラント ■ 車両・航空 ■ その他（含む調整額）

（単位：億円）



前年同期比の主な増減要因

ICTソリューション

3億円増益

- ・ 人件費、オフィスリニューアル費用などの経費が増加した一方、セキュリティ関連の案件や、製造業を中心としたネットワークやストレージ関連の案件が順調に推移したことにより増益

電子・デバイス

35億円増益

- ・ **モバイル事業**：直営店舗の増加や販路拡大の効果、販売台数増加に加え、法人向け事業の伸長もあり、店舗再編などにかかるコストが先行した前年同期比で増益
- ・ **半導体部品・製造装置事業**：半導体部品は好調な前年同期比で減速、半導体装置は半導体市況の回復の遅れに伴い苦戦したものの、M&Aによる効果もあり増益

食料

13億円減益

- ・ **食品事業**：リテール向け取引や飲料原料の販売などが堅調に推移した一方、農産品は好調に推移した前年同期比で減益
- ・ **畜産事業**：海外市況高や円安によるコスト高、国内市況低迷の影響などにより販売が苦戦し減益
- ・ **食糧事業**：輸入米などが堅調に推移した一方、粗飼料取引が軟調に推移し減益

鉄鋼・素材・プラント

1億円増益

- ・ **鉄鋼事業**：持分法による投資の減損損失を計上した前年同期比で良化した一方、北米鋼管取引が減速した影響などによりほぼ横ばい
- ・ **プラント事業**：ODA案件の取引が好調に推移し増益
- ・ **エネルギー事業**：暖冬の影響などによる販売不調により前年同期比で減益

車両・航空

4億円増益

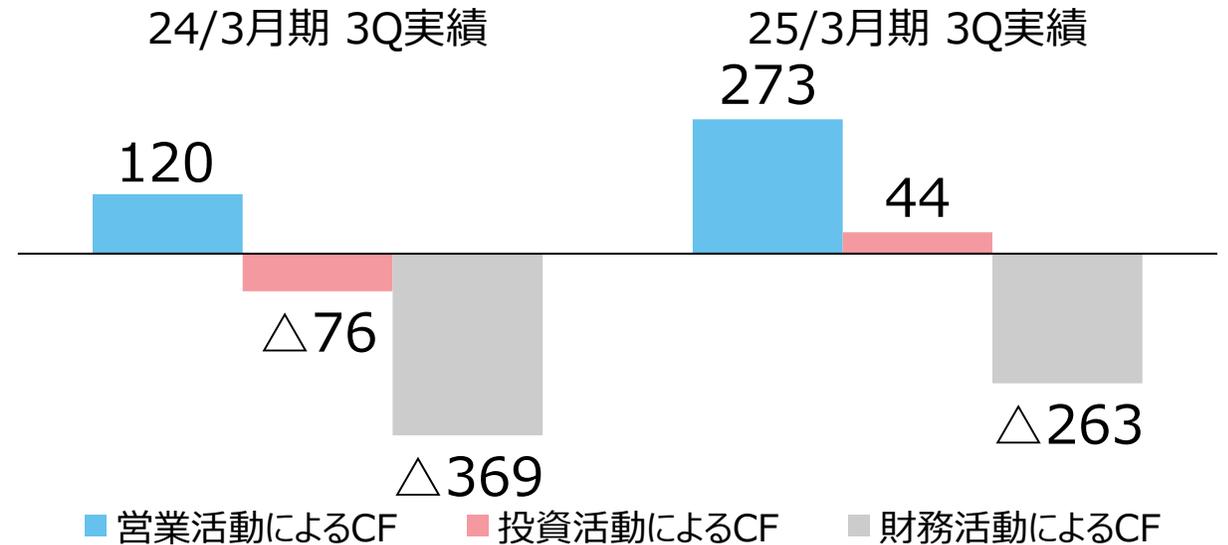
- ・ **航空宇宙事業**：航空機・防衛関連の取引が好調に推移し増益

キャッシュ・フロー

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
営業収入の積上げなどにより、**273億円のキャッシュ・イン**
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
有形固定資産の取得や子会社の取得等の事業投資の実行などによる支出があった一方で、政策保有株式（その他の投資）の売却などにより、**44億円のキャッシュ・イン**
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
借入金およびリース負債の返済や配当金の支払いなどにより、**263億円のキャッシュ・アウト**

(単位：億円)	24/3月期 3Q実績	25/3月期 3Q実績	前年 同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	120	273	+153
投資活動によるキャッシュ・フロー	△76	44	+120
フリーキャッシュ・フロー	44	317	+272
財務活動によるキャッシュ・フロー	△369	△263	+106
(調整後) 営業キャッシュ・フロー ¹⁾	180	250	+70

1) (調整後) 営業キャッシュ・フロー = 会計上の営業キャッシュ・フロー ± 運転資本増減 - リース負債の返済



財政状態

■ 総資産

有形固定資産の取得や棚卸資産の増加などにより、**13億円の増加**

■ ネット有利子負債

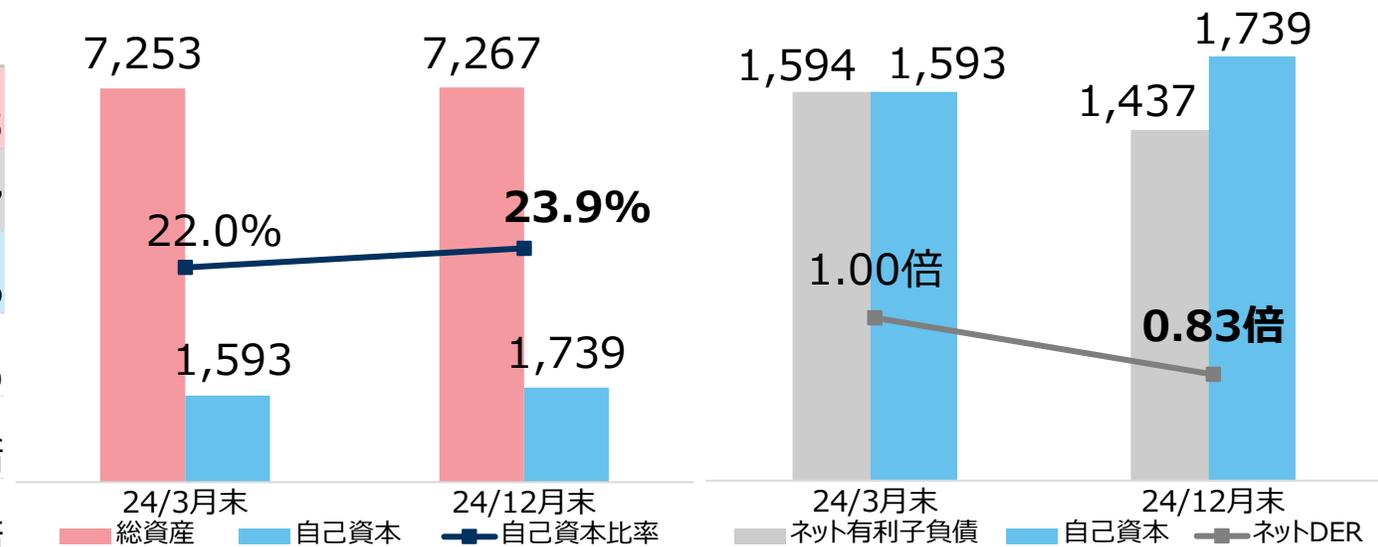
運転資本の減少や政策保有株式の売却に伴う借入金の返済、社債の償還などにより、**157億円の減少**

■ 自己資本

親会社の所有者に帰属する四半期利益の積上げなどにより、**146億円の増加**

自己資本比率は**23.9%**、ネットDERは**0.83倍**

(単位：億円)	24/3月末	24/12月末	増減
総資産	7,253	7,267	+13
ネット有利子負債	1,594	1,437	△157
自己資本 ¹⁾	1,593	1,739	+146
自己資本比率 ²⁾	22.0%	23.9%	+2.0%
ネットDER ³⁾	1.00倍	0.83倍	△0.17倍
PBR ⁴⁾	1.37倍	1.28倍	△0.10倍



1) 自己資本は資本の「親会社の所有者に帰属する持分」

3) ネットDER = ネット有利子負債 ÷ 自己資本

2) 自己資本比率 = 自己資本 ÷ 総資産

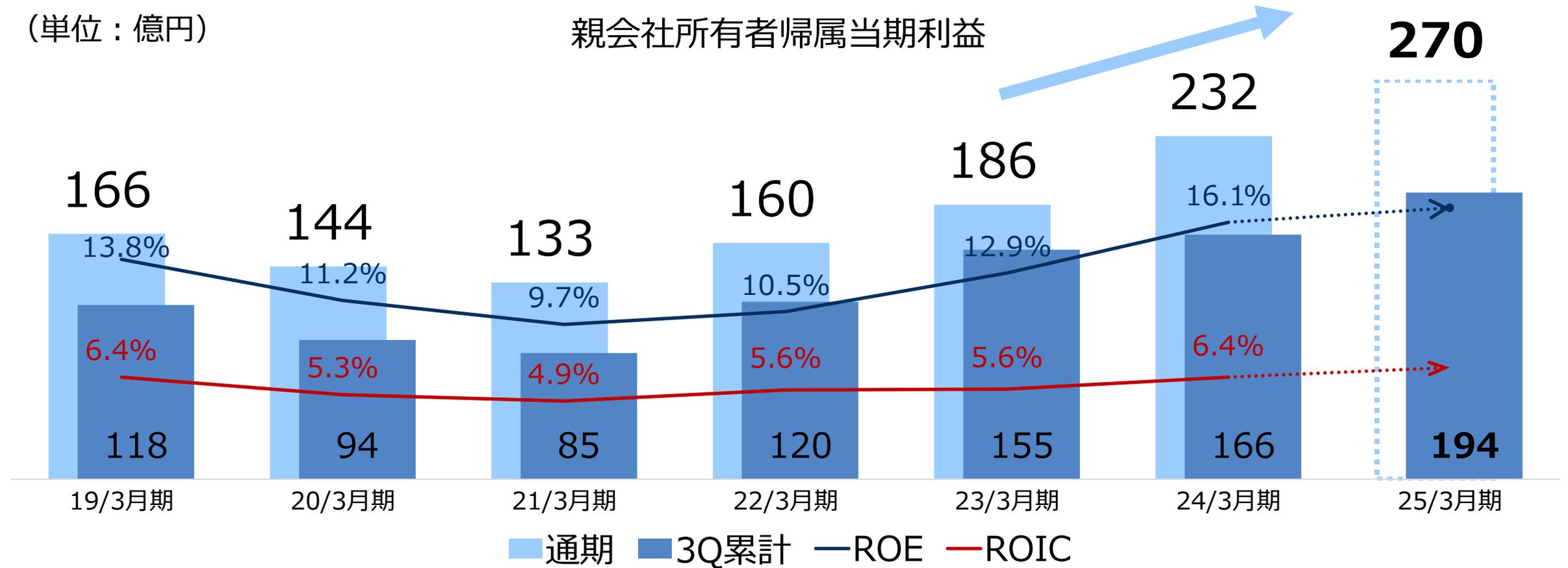
4) PBR = 期末時点の時価総額 (期末株価 × 発行済み株式数) ÷ 自己資本

親会社所有者帰属当期利益の推移

- 2025年3月期通期の当期利益は、前期比38億円増益の**270億円の見通し**
- 第3四半期の四半期利益は194億円となり、第3四半期における**過去最高益**を達成

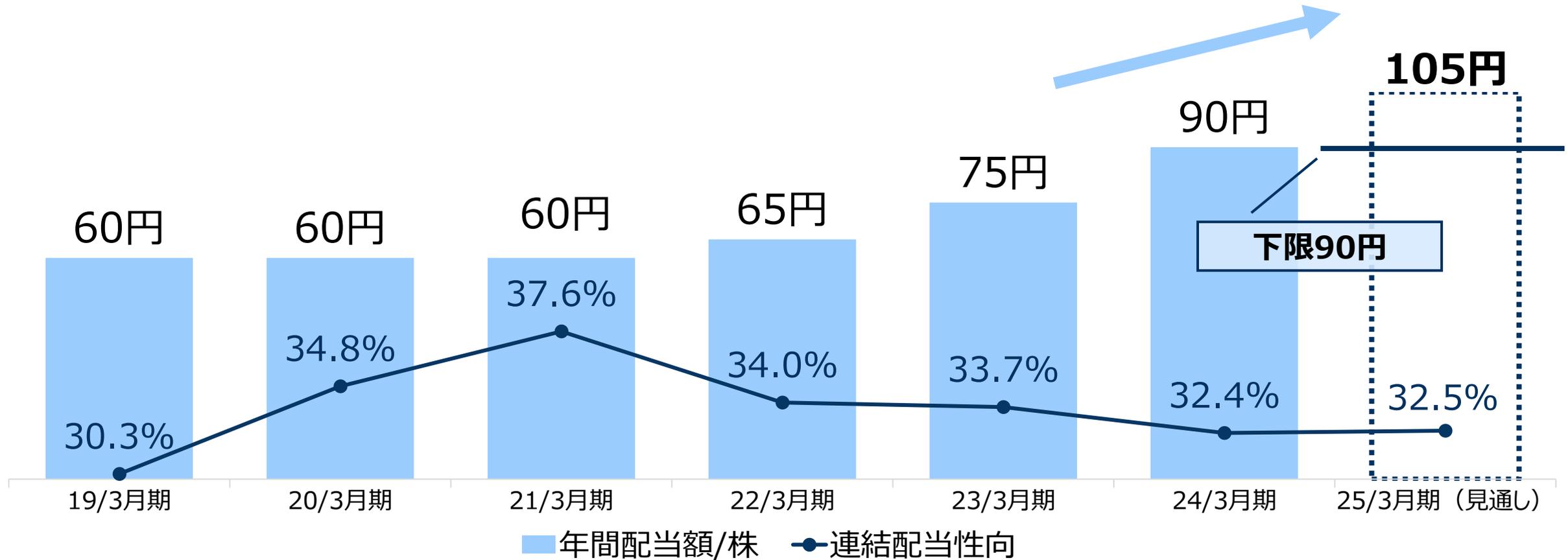
(単位：億円)

親会社所有者帰属当期利益



株主還元

- 中期経営計画「integration 1.0」期間の年間配当金を**下限90円**と定め**累進配当**を実施
- **総還元性向30~35%**を目標に、当期利益の成長に応じて配当金を増額する方針
- 2025年3月期の1株当たり**年間配当金は105円**（2024年11月1日公表）を予定





兼松株式会社